

## 第II部 共通調査項目の結果



## 1. 家族や生活状況について

### ①家族構成

家族構成についてみると、「高齢者一般」「要介護高齢者」では『夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）』の割合が最も高くなっています。

『1人暮らし』の結果をみると、「高齢者一般」が23.5%、「要支援高齢者」が37.0%、「要介護高齢者」が13.9%と、「要支援高齢者」の割合が最も高くなっています。また、「要介護高齢者」では『1人暮らし』の割合は低いものの、『その他』が18.3%と、他の区分と比べて最も高い割合を示していることから、多世帯で暮らしている割合が高い傾向にあると考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1人暮らし	573	23.5%	70	37.0%	51	13.9%
夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)	858	35.2%	49	25.9%	101	27.6%
夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)	135	5.5%	1	0.5%	3	0.8%
息子・娘との2世帯	442	18.2%	44	23.3%	99	27.0%
その他	332	13.6%	14	7.4%	67	18.3%
無回答	95	3.9%	11	5.8%	45	12.3%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

### ②居住種別

居住種別についてみると、すべての区分で『持家（一戸建て）』の割合が最も高く、区分での大きな差はみられない結果となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
持家(一戸建て)	1,662	68.3%	124	65.6%	242	66.1%
持家(集合住宅)	388	15.9%	29	15.3%	34	9.3%
公営賃貸住宅	58	2.4%	5	2.6%	10	2.7%
民間賃貸住宅(一戸建て)	39	1.6%	3	1.6%	3	0.8%
民間賃貸住宅(集合住宅)	215	8.8%	18	9.5%	30	8.2%
借間	13	0.5%	3	1.6%	3	0.8%
その他	22	0.9%	3	1.6%	14	3.8%
無回答	38	1.6%	4	2.1%	30	8.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

### ③経済状況

経済状況についてみると、すべての区分で『ふつう』の割合が最も高くなっています。

『大変苦しい』と『やや苦しい』の合計値をみると、「高齢者一般」が28.7%、「要支援高齢者」が26.5%、「要介護高齢者」が35.5%と、「要介護高齢者」は他の区分と比べて、経済状況において苦しいと感じている割合が高い傾向がみられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
大変苦しい	177	7.3%	16	8.5%	30	8.2%
やや苦しい	520	21.4%	34	18.0%	100	27.3%
ふつう	1,354	55.6%	109	57.7%	170	46.4%
ややゆとりがある	271	11.1%	14	7.4%	21	5.7%
大変ゆとりがある	45	1.8%	1	0.5%	4	1.1%
無回答	68	2.8%	15	7.9%	41	11.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

### ④幸福感

幸福感について『5点』～『10点』の合計値でみると、「高齢者一般」が90.7%、「要支援高齢者」が89.9%、「要介護高齢者」が67.8%と、「高齢者一般」と「要支援高齢者」での大きな差はみられないものの、「要介護高齢者」では約7割と、他の区分と比べて幸福感が低い傾向がみられます。また、『0点』～『4点』の合計値では、すべての区分で同様の結果となっています。

なお、「要介護高齢者」では、『無回答』の割合が他の区分と比べて高いことから、幸福感に対して点数を付けること自体に、難しさを感じていることがうかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
0点	9	0.4%	0	0.0%	8	2.2%
1点	7	0.3%	3	1.6%	5	1.4%
2点	26	1.1%	3	1.6%	5	1.4%
3点	50	2.1%	5	2.6%	15	4.1%
4点	61	2.5%	4	2.1%	13	3.6%
5点	440	18.1%	51	27.0%	93	25.4%
6点	236	9.7%	24	12.7%	28	7.7%
7点	415	17.0%	21	11.1%	33	9.0%
8点	596	24.5%	35	18.5%	45	12.3%
9点	215	8.8%	10	5.3%	12	3.3%
10点	306	12.6%	29	15.3%	37	10.1%
無回答	74	3.0%	4	2.1%	72	19.7%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

## 2. 介護について

### ①介護の状況

介護の状況についてみると、『現在、何らかの介護を受けている』は「高齢者一般」が1.8%、「要支援高齢者」が40.2%、「要介護高齢者」が74.6%となっています。

また、「高齢者一般」では、『介護・介助は必要ない』が89.0%と、「高齢者一般」では約9割の方が自立した日常生活を送れている状況となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
介護・介助は必要ない	2,167	89.0%	68	36.0%	22	6.0%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	110	4.5%	35	18.5%	23	6.3%
現在、何らかの介護を受けている	43	1.8%	76	40.2%	273	74.6%
無回答	115	4.7%	10	5.3%	48	13.1%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

### ②介護が必要となった原因

介護が必要となった原因について最も高い割合を示している項目をみると、「高齢者一般」では『骨折・転倒』が20.9%、「要支援高齢者」では『高齢による衰弱』が40.8%、「要介護高齢者」では『認知症（アルツハイマー病等）』が31.9%と、区分により異なる傾向がみられます。

また、介護度があがるにつれて増加する項目は、『脳卒中（脳出血・脳梗塞等）』となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4	9.3%	9	11.8%	64	23.4%
心臓病	2	4.7%	10	13.2%	28	10.3%
がん(悪性新生物)	2	4.7%	4	5.3%	14	5.1%
呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	1	2.3%	8	10.5%	12	4.4%
関節の病気(リウマチ等)	7	16.3%	13	17.1%	11	4.0%
認知症(アルツハイマー病等)	4	9.3%	2	2.6%	87	31.9%
パーキンソン病	0	0.0%	1	1.3%	14	5.1%
糖尿病	4	9.3%	1	1.3%	28	10.3%
腎疾患(透析)	1	2.3%	0	0.0%	8	2.9%
視覚・聴覚障害	8	18.6%	6	7.9%	23	8.4%
骨折・転倒	9	20.9%	18	23.7%	60	22.0%
脊椎損傷	5	11.6%	6	7.9%	18	6.6%
高齢による衰弱	8	18.6%	31	40.8%	83	30.4%
その他	8	18.6%	13	17.1%	39	14.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	2	0.7%
無回答	1	2.3%	5	6.6%	10	3.7%
総回答数	64	148.8%	127	167.1%	501	183.5%
合計	43	100.0%	76	100.0%	273	100.0%

### ③主な介護者

主な介護者について『配偶者』『息子』『娘』の合計値でみると、「高齢者一般」が65.2%、「要支援高齢者」が32.9%、「要介護高齢者」が49.8%と、「要支援高齢者」は他の区分と比べて低い傾向がみられ、家族構成において1人暮らしの割合も高いことが影響していると考えられます。このような状況から、「要支援高齢者」では他の区分と比べて『介護サービスのヘルパー』の割合が高く、家族からの介護・介助ではなく、介護サービスのヘルパーの介護・介助を受けながら日常生活を送っている割合が高い傾向がみられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
配偶者(夫・妻)	8	18.6%	7	9.2%	78	28.6%
息子	6	14.0%	4	5.3%	17	6.2%
娘	14	32.6%	14	18.4%	41	15.0%
子の配偶者	0	0.0%	3	3.9%	11	4.0%
孫	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
兄弟・姉妹	1	2.3%	2	2.6%	3	1.1%
介護サービスのヘルパー	3	7.0%	29	38.2%	45	16.5%
その他	3	7.0%	3	3.9%	30	11.0%
無回答	8	18.6%	13	17.1%	48	17.6%
合計	43	100.0%	76	100.0%	273	100.0%

### 3. 紙おむつの利用状況

紙おむつの利用状況についてみると、すべての区分で『現在、紙おむつは利用していない』が最も高い割合となっていますが、介護度があがるにつれて割合は減少し、「要介護高齢者」では約3割となっています。

また、「要介護高齢者」では『昼用と夜用を使い分けて、常時使用している』が23.2%と、紙おむつが日常生活において必需品となっている方が約4人に1人となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現在、紙おむつは利用していない	2,104	86.4%	109	57.7%	110	30.1%
念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)	54	2.2%	15	7.9%	64	17.5%
寝ている間だけ、使用している	7	0.3%	4	2.1%	11	3.0%
寝たきり状態であり、常時使用している	3	0.1%	0	0.0%	18	4.9%
昼用と夜用を使い分けて、常時使用している	10	0.4%	11	5.8%	85	23.2%
その他	31	1.3%	12	6.3%	22	6.0%
無回答	226	9.3%	38	20.1%	56	15.3%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

## 4. 外出について

### ①主な外出先

主な外出先についてみると、「高齢者一般」では、各項目に対して回答がみられる状況であることから、活動的に外出をしている状況がみられます。一方で、「要介護高齢者」では、上位3位に挙げられている項目以外への回答が少数であることから、外出先はある程度限定されている状況がうかがえます。

また、「要支援高齢者」では、『病院、診療所』が54.7%と、他の区分と比べても割合が高いことから、自身が抱える傷病の治療ということもありますが、自立した日常生活を継続するため、自身の健康管理に気をつける意識も、他の区分に比べても高いのではないかと考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
買い物をする場所	1,798	79.4%	106	65.8%	84	35.9%
会合・サークル活動・学習のための施設	502	22.2%	30	18.6%	5	2.1%
体操等、地域の通いの場	185	8.2%	16	9.9%	8	3.4%
病院、診療所	598	26.4%	88	54.7%	108	46.2%
飲食店	303	13.4%	9	5.6%	21	9.0%
公園、遊歩道	444	19.6%	14	8.7%	20	8.5%
家族・親戚や友人・知人の家	235	10.4%	9	5.6%	14	6.0%
文化・娯楽施設	148	6.5%	3	1.9%	1	0.4%
行楽地、観光地	132	5.8%	0	0.0%	1	0.4%
スポーツ施設	302	13.3%	7	4.3%	1	0.4%
宗教的な施設・場所	50	2.2%	3	1.9%	3	1.3%
農園	145	6.4%	2	1.2%	2	0.9%
職場	488	21.5%	3	1.9%	1	0.4%
入浴施設	55	2.4%	0	0.0%	2	0.9%
デイサービスなどの通所施設	-	-	61	37.9%	164	70.1%
その他	200	8.8%	12	7.5%	13	5.6%
無回答	10	0.4%	3	1.9%	0	0.0%
総回答数	5,595	247.0%	366	227.3%	448	191.5%
合計	2,265	100.0%	161	100.0%	234	100.0%

## ②外出時の移動手段

外出時の移動手段についてみると、「高齢者一般」では、自身の動作（徒歩・自転車・自動車）及び公共交通機関（電車・路線バス）を利用する割合が高く、これらの項目は介護度があがるにつれて減少する傾向がみられます。一方で、介護度があがるにつれて、増加傾向がみられる項目としては、『自動車（人に乗せてもらう）』となっています。

また、ある程度の身体機能が維持できる状態にある「要支援高齢者」では、『病院や施設のバス』『歩行器・シルバーカー』『タクシー』の割合が、他の区分に比べて高くなっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
徒歩	1,871	76.8%	117	61.9%	96	26.2%
自転車	1,008	41.4%	14	7.4%	11	3.0%
バイク	87	3.6%	4	2.1%	0	0.0%
自動車(自分で運転)	1,193	49.0%	8	4.2%	3	0.8%
自動車(人に乗せてもらう)	342	14.0%	68	36.0%	186	50.8%
電車	1,453	59.7%	57	30.2%	33	9.0%
路線バス	733	30.1%	49	25.9%	38	10.4%
病院や施設のバス	60	2.5%	50	26.5%	88	24.0%
車いす	3	0.1%	2	1.1%	64	17.5%
電動車いす(カート)	1	0.0%	0	0.0%	2	0.5%
歩行器・シルバーカー	14	0.6%	31	16.4%	43	11.7%
タクシー	289	11.9%	68	36.0%	103	28.1%
その他	14	0.6%	5	2.6%	11	3.0%
無回答	78	3.2%	8	4.2%	52	14.2%
総回答数	7,146	293.5%	481	254.5%	730	199.5%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

## 5. 日常生活について

### ① どなたかと食事をする機会

どなたかと食事をする機会についてみると、『毎日ある』は「高齢者一般」が50.4%、「要支援高齢者」が37.6%、「要介護高齢者」が54.1%と、「要支援高齢者」は他の区分に比べて低く、家族構成において1人暮らしの割合も高いことが影響していると考えられます。

また、『年に何度かある』『ほとんどない』の合計値でみると、「高齢者一般」が17.3%、「要支援高齢者」が24.4%、「要介護高齢者」が16.4%と、『毎日ある』の割合が最も低い「要支援高齢者」が最も高い割合を示す結果となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
毎日ある	1,227	50.4%	71	37.6%	198	54.1%
週に何度かある	248	10.2%	19	10.1%	38	10.4%
月に何度かある	470	19.3%	45	23.8%	29	7.9%
年に何度かある	252	10.3%	27	14.3%	11	3.0%
ほとんどない	171	7.0%	19	10.1%	49	13.4%
無回答	67	2.8%	8	4.2%	41	11.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

## ②日常生活で困ったこと

日常生活で困ったことについてみると、「高齢者一般」では『特に困っていることはない』が54.1%と、約半数の方は日常生活における困りごとではなく生活できている状況がみられますが、困りごととして上位に挙げられている項目としては、『日常の力仕事(家具の移動等)』『庭の手入れ』となっています。

日常生活における困りごとは、介護度があがるにつれて割合は増加する傾向がみられますが、『日常の力仕事(家具の移動等)』『庭の手入れ』『掃除』については、「要支援高齢者」に比べて「要介護高齢者」の割合は低く、介護保険サービス等の利用により、自身が行う機会が減ることが影響しているのではないかと考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
税金の支払いや公共機関の手続き	199	8.2%	45	23.8%	110	30.1%
財産やお金の管理	125	5.1%	27	14.3%	101	27.6%
近くに買い物をする場所がない	84	3.4%	23	12.2%	68	18.6%
買い物に行くのが困難(行けない)	36	1.5%	46	24.3%	132	36.1%
日々のゴミ出し	83	3.4%	43	22.8%	105	28.7%
日常の力仕事(家具の移動等)	478	19.6%	111	58.7%	138	37.7%
庭の手入れ	288	11.8%	65	34.4%	111	30.3%
掃除	184	7.6%	71	37.6%	127	34.7%
洗濯	119	4.9%	37	19.6%	105	28.7%
食事の準備	152	6.2%	35	18.5%	125	34.2%
外出の際の移動手段	111	4.6%	63	33.3%	135	36.9%
電化製品の扱い方	264	10.8%	61	32.3%	121	33.1%
ペットの世話	28	1.1%	7	3.7%	28	7.7%
その他	62	2.5%	13	6.9%	26	7.1%
特に困っていることはない	1,314	54.0%	26	13.8%	51	13.9%
無回答	149	6.1%	8	4.2%	67	18.3%
総回答数	3,676	151.0%	681	360.3%	1,550	423.5%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

## ③今後の生活で心配なこと

今後の生活で心配なことについてみると、上位3位に挙げられている項目は、すべての区分で『経済的なこと』『自分の健康に関すること』『自分が認知症になること』となっています。

『自分が認知症になること』については、「要支援高齢者」では50.8%と、他の区分に比べて割合が高く、関心が高い状況がうかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
経済的なこと	850	34.9%	45	23.8%	116	31.7%
お金の管理のこと	96	3.9%	21	11.1%	46	12.6%
自分の健康に関すること	1,283	52.7%	142	75.1%	180	49.2%
自分が認知症になること	826	33.9%	96	50.8%	110	30.1%
家族の健康に関すること	696	28.6%	43	22.8%	71	19.4%
家族が認知症になること	270	11.1%	14	7.4%	25	6.8%
家族との不和	57	2.3%	1	0.5%	12	3.3%
近所との付き合い	53	2.2%	5	2.6%	4	1.1%
将来、一人で生活することになったときのこと	354	14.5%	26	13.8%	56	15.3%
何かあったときにどこへ相談していいかわからない	141	5.8%	11	5.8%	20	5.5%
住まいに関すること	175	7.2%	14	7.4%	10	2.7%
その他	34	1.4%	3	1.6%	8	2.2%
特に心配していることはない	382	15.7%	13	6.9%	30	8.2%
無回答	65	2.7%	5	2.6%	51	13.9%
総回答数	5,282	216.9%	439	232.3%	739	201.9%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

## ④地域との関わり

地域との関わりについてみると、すべての区分で『いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい』の割合が最も高く、「高齢者一般」が41.2%、「要支援高齢者」が46.6%、「要介護高齢者」が30.6%となっています。

また、『お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい』は、「高齢者一般」が36.7%と、他の区分と比べて高くなっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい	290	11.9%	22	11.6%	41	11.2%
いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい	1,004	41.2%	88	46.6%	112	30.6%
お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい	893	36.7%	53	28.0%	98	26.8%
かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい	124	5.1%	10	5.3%	44	12.0%
無回答	124	5.1%	16	8.5%	71	19.4%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

## 6. 市の施策、介護保険制度について

### ①介護保険料の負担感

介護保険料の負担感に『多少負担を感じる』と『負担を感じる』の合計値でみると、「高齢者一般」が62.8%、「要支援高齢者」が51.3%、「要介護高齢者」が46.2%と、介護保険料に対して負担感を感じている割合が高いのは「高齢者一般」で、他の区分に比べて高い要因としては、介護保険サービスを利用していないことが負担感につながっていると考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
負担とは感じない	105	4.3%	13	6.9%	19	5.2%
それほど負担とは感じない	251	10.3%	26	13.8%	35	9.6%
多少負担を感じる	653	26.8%	48	25.4%	72	19.7%
負担と感じる	877	36.0%	49	25.9%	97	26.5%
どちらともいえない	215	8.8%	21	11.1%	32	8.7%
わからない	223	9.2%	21	11.1%	53	14.5%
無回答	111	4.6%	11	5.8%	58	15.8%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

### ②介護サービスと介護保険料の相関関係

介護サービスと介護保険料の相関関係についてみると、すべての区分で『どちらともいえない』の割合が最も高く、「高齢者一般」が51.5%、「要支援高齢者」が47.1%、「要介護高齢者」が46.2%と、介護サービスと介護保険料の相関関係に対する考え方として、明確に回答することは難しいと考える方が多い状況がうかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い	485	19.9%	41	21.7%	78	21.3%
介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い	564	23.2%	43	22.8%	57	15.6%
どちらともいえない	1,255	51.5%	89	47.1%	169	46.2%
無回答	131	5.4%	16	8.5%	62	16.9%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

### ③紙おむつ給付事業

紙おむつ給付事業についてみると、『介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい』は、「要介護高齢者（介護者）」が47.8%と、他の区分と比べて高く、要介護高齢者の介護者としては、必要な事業と考えられている結果となっています。

一方で、『紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い』の割合は低いものの、『介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい』『寝たきりなど常に紙おむつが必要な方だけに限定した方がよい』の合計値は、現行通りの内容を希望する割合を上回ることから、何かしらの見直しが必要だと考えられている状況にあるとかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要支援高齢者（介護者）		要介護高齢者		要介護高齢者（介護者）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい	478	19.6%	46	24.3%	21	31.3%	108	29.5%	108	47.8%
介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい	800	32.9%	48	25.4%	27	40.3%	94	25.7%	71	31.4%
寝たきりなど常に紙おむつが必要な方だけに限定した方がよい	715	29.4%	42	22.2%	17	25.4%	53	14.5%	37	16.4%
紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い	128	5.3%	7	3.7%	2	3.0%	9	2.5%	10	4.4%
無回答	314	12.9%	46	24.3%	-	-	102	27.9%	-	-
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	67	100.0%	366	100.0%	226	100.0%

### ④低所得者助成金制度

低所得者助成金制度についてみると、すべての区分で『今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う』の割合が最も高く、「高齢者一般」が52.0%、「要支援高齢者」が51.3%、「要介護高齢者」が47.5%と、制度を継続する必要があると考える方は多い状況ではあるものの、「高齢者一般」では、『助成金制度の見直しを行う必要があると思う』が26.1%と、約4人に1人は制度の見直しを行う必要があると考えられています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う	1,267	52.0%	97	51.3%	174	47.5%
助成金制度の見直しを行う必要があると思う	636	26.1%	27	14.3%	52	14.2%
税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う	98	4.0%	3	1.6%	13	3.6%
その他	64	2.6%	6	3.2%	9	2.5%
無回答	370	15.2%	56	29.6%	118	32.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%